

区政 Now ! (27年2月号)

「区政は区民を幸せにするシステムである」・・・西川太一郎

い
し
ご
わ
か
わ



区では、区民の皆さまの幸福実感向上を目指した様々な政策を実施しておりますが、国や都と連携した事業や国際貢献など、区政の枠を超えた取組にも力を入れております。例えば、昨年9月に日暮里駅前にオープンした「マザーズハローワーク」と「わかものハローワーク」では、既に300名以上の方が就労に結びつくなど確実に成果を上げ始めており、区としても国や都と連携した就労支援策を強化しております。また、東京二十三区清掃一部事務組合によるアジア各国への技術提供等の取組は、世界経済フォーラムにおいてその国際貢献度を高く評価していただきました。

こういった区政の枠を超えた取組の積み重ねが、ひいては「幸福実感都市あらかわ」の実現につながっていくものと考えております。今後とも、皆さまの御理解と御協力をいただきながら、職員一丸となって取組を進めてまいります。

● 「日暮里わかものハローワーク」「マザーズハローワーク日暮里」が成果を上げています

◇ 「日暮里わかものハローワーク」と「マザーズハローワーク日暮里」（住所：西日暮里2-29-3 日清ビル）が昨年9月1日にオープンして以来、本年1月末までに、317人の就労に結びつくなど、確実に成果を上げ始めています。

◇ 区としても、2つの専門ハローワークと連携しながら、区民の皆さまの雇用と就労に関する支援策を強化しております。今後とも、1人でも多くの方の安定的な就労と雇用の実現に向けた取り組みを進めてまいります。



わかものハローワーク内の様子

日暮里わかものハローワーク・マザーズハローワーク日暮里就職者数等 集計(平成27年1月30日現在)

	日暮里わかものハローワーク	マザーズハローワーク日暮里
延べ利用者数	7,296人	4,569人
新規登録者数	1,134人	843人
就職者数	177人	140人

主
な
事
業

● 東京二十三区清掃一部事務組合の取組が世界経済フォーラムの循環経済賞「地域・都市部門」において最終選考対象に選ばれました

◇ 1月21日から23日まで、世界経済フォーラム（WEF）年次総会（通称「ダボス会議」）がスイスのダボスで開催され、東京二十三区清掃一部事務組合の取組が、循環経済賞の「地域・都市部門」の最終選考対象6団体の1つに選ばれました。

◇ 世界経済フォーラムは、世界の経済及び社会問題について論議する国際会議で、各国の首相や大統領の他、経済組織の代表者等で構成され、よりよい世界情勢の実現を目的として、



Clean Authority of TOKYO 23cities
Waste disposal of TOKYO 23cities

貧困の撲滅・環境保全など様々なプロジェクトを実施しています。

◇ 東京二十三区清掃一部事務組合の、近隣アジア各国における廃棄物管理への技術貢献や、技術を共有するために国際協力室を設立したことなどが高く評価され、「地域・都市部門」において最終選考対象に選出されました。

● 常磐線の一部が品川駅まで直通運転されます

- ◇ 平成27年3月14日、JR東日本のダイヤ改正とともに「上野東京ライン」が開業し、常磐線が品川駅まで直通運転されることが決まりました。これにより、常磐線での都心部へのダイレクトアクセスが可能となり、乗り換えの解消による所要時間の短縮など、利便性が飛躍的に向上します。
- ◇ 区内の常磐線3駅（南千住・三河島・日暮里）につきましては、これまでどおり停車することが決定しており、朝8時台のラッシュ時には、全9本中5本が品川駅まで直通運転されます。
- ◇ 通勤や通学など区民の皆さまの利便性の向上はもとより、駅周辺のさらなる発展、区全体のより一層のイメージアップにつながるものと期待しております。

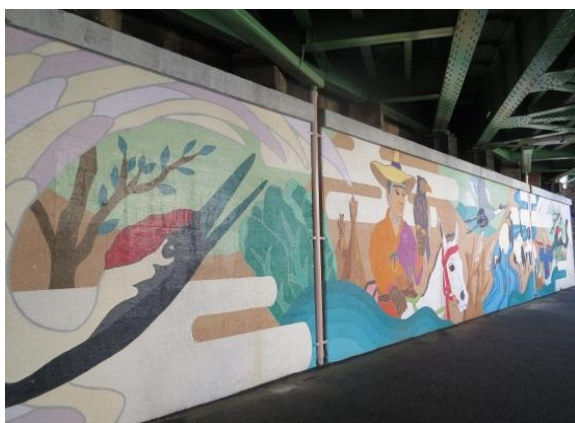


● 奥の細道千住あらかわサミットにおいて「荒川区俳句のまち宣言」を行います

- ◇ 平成27年3月14日、奥の細道矢立初めの地である荒川区で、「奥の細道千住あらかわサミット」が開催されます。
- ◇ 松尾芭蕉、小林一茶、正岡子規など著名な俳人が訪れ、俳句を詠んだ荒川区で、更に俳句文化を振興し、「俳句のまち」であることを区内外へ強く発信するために、サミットにおいて「荒川区俳句のまち宣言」を行います。
- ◇ また、サミット開催を記念して、南千住駅西口駅前広場に、荒川区顧問の平野千里氏制作による芭蕉像を設置し、3月4日にはその除幕式を行います。
- ◇ 俳句ゆかりの地として荒川区の魅力を区内外に伝えていくとともに、俳句文化の振興を一層図ってまいります。

● JR常磐線第3三河島ガード下の壁画が完成しました

- ◇ 近隣町会など区民の方から壁画のデザインのアイデアをいただき、荒川区で活動している東京藝術大学の卒業生グループ「A+（アプリュス）」が原画を作成して、今回、区内4カ所目となる第3三河島ガード下（東日暮里側）の壁画が完成しました。



壁画に描かれた勇ましい将軍の姿

- ◇ 壁画の作成には、近隣の区民の方や、第三峡田小学校の5・6年生の児童などが色塗りに参加し、『名所江戸百景』の「蓑輪金杉三河しま」（歌川広重作・安政4年）をモチーフに、三河島の地に飛来した鶴や鷹狩に臨む将軍の姿、献上される三河島菜や荒木田大根が描かれました。
- ◇ 壁画の制作は、鉄道高架下の暗がりにおける防犯や景観向上を図るものであり、今後とも、「安全安心都市」を目指した取組を進めてまいります。